

勉強するということ

1. 教育を考える一言

「一生勉強 一生青春」

2. 背景

相田みつをさんの言葉です。小学校から高校まで通っていた珠算塾に、この言葉が飾ってありました。小さい頃から勉強が嫌いだった私は、この言葉を見て、「一生勉強なんてしたくない、でも一生青春はしたい」とよく口にしていました。

昨年、青春 18 きっぷ（1日 2300 円で JR が乗り放題の切符）で電車だけを利用し、福岡まで旅行にいきました。持ち物はリュックサック 1 つのみ。静岡で SL を見て、京都を経て、鳥取砂丘、島根の 1 年計砂時計、出雲大社、山口では錦帯橋、そして福岡で長浜ラーメン。帰りは香川で讃岐うどん、広島風お好み焼き、原爆ドーム、尾道ラーメン、姫路城。最後は名古屋で宿をとり、清水で海鮮丼を堪能し、1 週間ほどかけてたくさんの地に足を踏み入れました。

青春 18 きっぷと聞くと、18 歳でしか使用できないように思われます。しかし当時、私は 21 歳でした。青春 18 きっぷは、年齢制限は一切なく、誰でも購入、利用することができます。つまり気持ちが若ければ誰でも青春 18 きっぷで旅行が可能なのです。使い道は人それぞれで、遠くの地へ安く行こうと購入する人もいれば、気の向くままに途中下車をし、景色を楽しむことを目的としている人もいます。

その旅行で、私はたくさんの現地の人と触れ合うことで、世界遺産の歴史や、意外な名所、穴場スポット、あまり有名ではない名産物を教えていただき、今まで知らなかったことを知る機会を得ることができました。時間に追われる毎日から解放され、今までの私の人生の中でとても貴重で新鮮な経験です。この経験を通し、「知らないことを知ること」というのも勉強という意味を含んでいるのではないかと思うようになりました。このとき私は、これが「一生勉強 一生青春」か！と思ったのです。

3. 考察

「なぜ勉強しなければならないの？」と子どもがよく口にしているのを耳にします。子どもの頃、この疑問を抱いた方もいらっしゃるかもしれません。もし、子どもにこの問いを投げかけられたら、なんて答えますか？良い大学に入るため？良い会社に就職するため？将来安定した生活を過ごせるようになるため？回答は様々で、正解はないと思います。

世の中には知っていることより、知らないことのほうが遥かに多いです。それはすごく勿体ないことだと思います。もしかしたら、人生を左右するなにかを知る機会を逃しているかもしれません。たくさんのご縁を逃しているかもしれません。新しく物事を知るきっかけを得るため、また人生の選択肢を広げるため、勉強をするのではないかと私は考えます。

一生勉強、一生青春、そして一生挑戦していきたいです。

参考文献

相田みつを『にんげんだもの』文化出版局、1984 年



【鳥取砂丘】



【錦帯橋】



【SL】